

# 災害報道における 民間放送の取り組み

日本民間放送連盟

テレビ朝日

**大雨特別警報**

相模原市 足利市 佐野市 4.4K

**速報** 1都6県に大雨特別警報  
気象庁「命を守る行動を」

土砂災害  
警戒情報

午後 4時 35分

神奈川県平塚市四之宮 銀河大橋

**すぐに全員避難 (東京都福生市)** ▼北田園一丁目 ▼北田園二丁目



放送日: 10月12日(土)報道特別番組  
「大雨特別警報」を伝える

日本テレビ放送網



放送日:10月12日(土) 報道特別番組  
気象庁の緊急会見を生中継で伝える

信越放送



放送日：11月8日(金)SBCニュースワイド  
千曲川の堤防が決壊した長野市穂保(ほやす)地区の住宅の流出現場。  
記者の後方に災害前には家が立ち並んでいた。

# メディアが伝える「警戒レベル相当情報」 水害・土砂災害における「避難情報」と「防災気象情報」の関係

(内閣府ウェブサイト「防災情報のページ」から)

警戒レベル	住民が取るべき行動	住民に行動を促す情報	住民が自ら行動をとる際の判断に参考となる情報 (警戒レベル相当情報)		
		避難情報等	洪水に関する情報		土砂災害に関する情報
			水位情報がある場合	水位情報がない場合	
警戒レベル5	既に災害が発生している状況であり、命を守るための最善の行動をとる。	災害発生情報※ <sup>1</sup> ※ <sup>1</sup> 可能な範囲で発令	氾濫発生情報	(大雨特別警報(浸水害))※ <sup>3</sup>	(大雨特別警報(土砂災害))※ <sup>3</sup>
警戒レベル4	・指定緊急避難場所等への立退き避難を基本とする避難行動をとる。 ・災害が発生するおそれが極めて高い状況等となっており、緊急に避難する。	・避難勧告 ・避難指示(緊急)※ <sup>2</sup> ※ <sup>2</sup> 緊急的又は重ねて避難を促す場合に発令	氾濫危険情報	・洪水警報の危険度分布(非常に危険)	・土砂災害警戒情報 ・土砂災害に関するメッシュ情報(非常に危険) ・土砂災害に関するメッシュ情報(極めて危険)※ <sup>4</sup>
警戒レベル3	高齢者等は立退き避難する。その他の者は立退き避難の準備をし、自発的に避難する。	避難準備・高齢者等避難開始	氾濫警戒情報	・洪水警報 ・洪水警報の危険度分布(警戒)	・大雨警報(土砂災害) ・土砂災害に関するメッシュ情報(警戒)
警戒レベル2	避難に備え自らの避難行動を確認する。	洪水注意報 大雨注意報	氾濫注意情報	・洪水警報の危険度分布(注意)	・土砂災害に関するメッシュ情報(注意)
警戒レベル1	災害への心構えを高める。	早期注意情報			

※<sup>3</sup> 大雨特別警報は、洪水や土砂災害の発生情報ではないものの、災害が既に発生している蓋然性が極めて高い情報として、警戒レベル5相当情報[洪水]や警戒レベル5相当情報[土砂災害]として運用する。ただし、市町村長は警戒レベル5の災害発生情報の発令基準としては用いない。

※<sup>4</sup> 「極めて危険」については、現行では避難指示(緊急)の発令を判断するための情報であるが、今後、技術的な改善を進めた段階で、警戒レベルへの位置付けを改めて検討する。

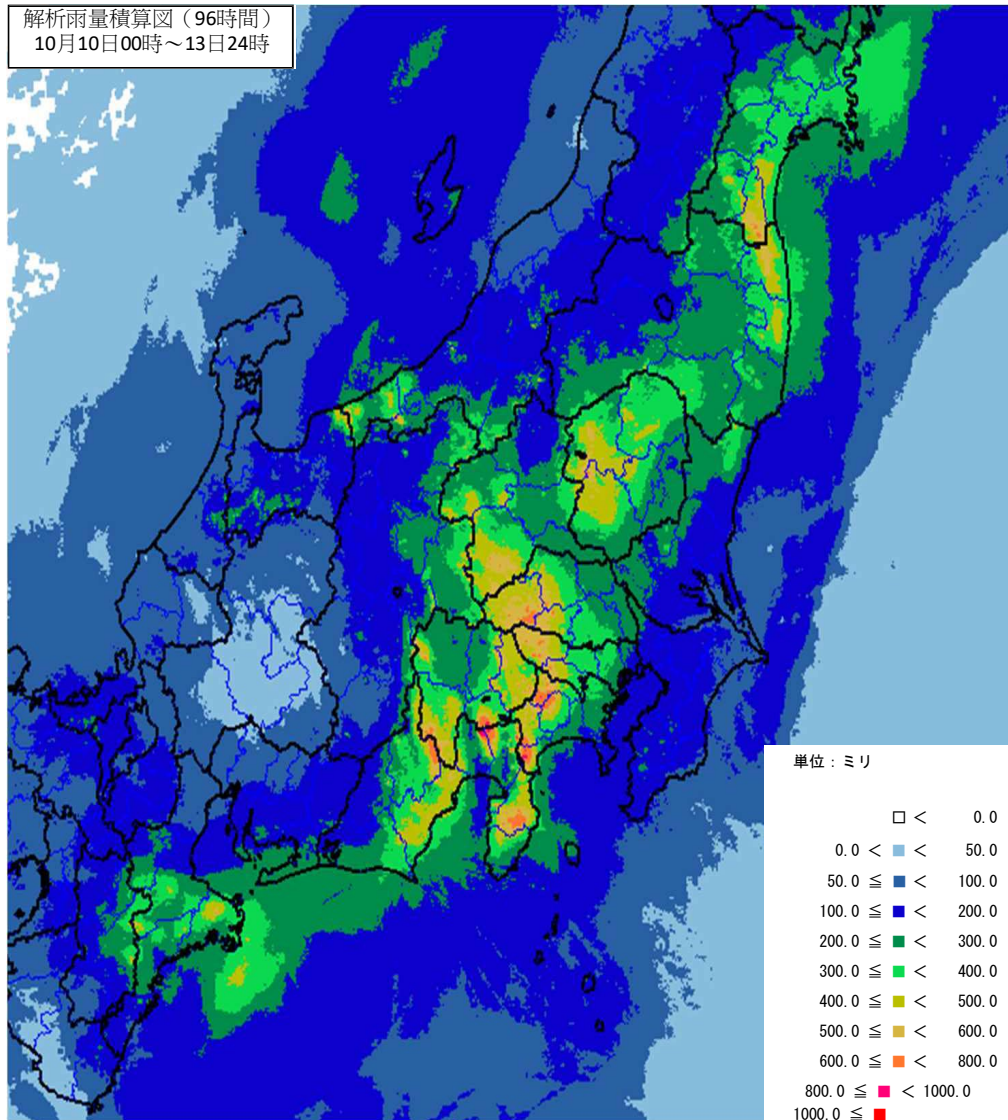
注<sup>1</sup> 市町村が発令する避難勧告等は、市町村が総合的に判断して発令するものであることから、警戒レベル相当情報が出されたとしても発令されないことがある。

注<sup>2</sup> 本ガイドラインでは、土砂災害警戒判定メッシュ情報(大雨警報(土砂災害)の危険度分布)、都道府県が提供する土砂災害危険度情報をまとめて「土砂災害に関するメッシュ情報」と呼ぶ。

○解析雨量※

(令和元年10月10日00時～13日24時の96時間積算)

(東京管区気象台の資料から引用)



※解析雨量とは、気象レーダーとアメダス等の地上の雨量計により観測されたデータを組み合わせ、1km四方ごとに過去1時間雨量を解析したものです。